

## NY マーケットレポート (2016年10月25日)

NY市場では、米国の年内利上げ観測が強まったことや、民主党候補のヒラリー・クリントン氏が95%以上の確率で当選するとの見通しが示されたことなどが材料視され、ドル買い・円売りが先行した。また、ドルはユーロや英ポンドに対しても堅調な動きとなった。ドル/円は、一時104.89まで上昇し、7月29日以来の高値を付ける動きとなった。なお、米金利先物市場に織り込まれる12月の米利上げ確率は、一時74%（前日71%）まで上昇した。ただ、その後に発表された米消費者信頼感指数が予想以上の低下となり、3ヵ月ぶりに100を下回る結果となったことや、原油価格、株価が下落したことを受けて円を買い戻す動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。

### 2016年10月25日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.46	104.50	104.17
EUR/JPY	113.61	113.67	113.32
GBP/JPY	127.69	127.79	127.35
AUD/JPY	79.65	79.74	79.18
EUR/USD	1.0875	1.0887	1.0868

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.61	104.43
EUR/JPY	113.80	113.59
GBP/JPY	127.96	127.64
AUD/JPY	79.86	79.63
EUR/USD	1.0894	1.0874

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	104.23	104.89	104.13
EUR/JPY	113.46	113.91	113.40
GBP/JPY	126.98	127.84	126.62
AUD/JPY	79.67	80.02	79.64
NZD/JPY	74.65	74.86	74.61
EUR/USD	1.0886	1.0905	1.0852
AUD/USD	0.7644	0.7655	0.7618

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18169.27	-53.76
S&P500	2143.16	-8.17
NASDAQ	5283.40	-26.43
日経225 (CME)	17350	+10
トロント総合	14870.63	-52.38
ボルサ指数	48093.53	-337.72
ボバスタ指数	63866.20	-193.69

#### 10/26 経済指標スケジュール

08:50	【日本】9月企業向けサービス価格指数
09:30	【オーストラリア】3Q消費者物価指数
14:00	【日本】10月中小企業景況判断
14:00	【シンガポール】9月鉱工業生産
15:00	【ドイツ】11月GfK消費者信頼感調査
15:00	【ドイツ】9月輸入物価指数
15:45	【フランス】10月消費者信頼感指数
16:30	【スウェーデン】9月貿易収支
17:30	【英国】9月BBA住宅ローン承認件数
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
21:30	【米国】9月卸売在庫
22:00	【メキシコ】9月貿易収支
22:45	【米国】10月マークイット米国サービス業PMI
23:00	【米国】9月新築住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1273.60	+9.90
NY 原油	49.96	-0.56
CME コーン	349.25	+1.00
CBOT 大豆	1002.25	0.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.852%	0.840%
3年債	1.000%	0.995%
5年債	1.276%	1.271%
7年債	1.552%	1.552%
10年債	1.758%	1.763%
30年債	2.501%	2.516%

ドイツ10年債	0.030%	0.023%
英国10年債	1.089%	1.082%

#### 10/26 主要会議・講演・その他予定

・米5年債入札

**NY 市場レポート**

《企業決算》

米 GM

第3四半期の調整後1株利益は1.72ドル（予想1.47ドル）

22:00

《経済指標の結果》

8月米S&P/ケース・シラー[総合20] 191.66（前回 190.85）  
 前回発表の190.91から190.85に修正

8月米S&P/ケース・シラー[総合20]（前月比） 0.24%（予想 0.10%・前回 0.02%）  
 前回発表の-0.01%から0.02%に修正

8月米S&P/ケース・シラー[総合20]（前年比） 5.13%（予想 5.00%・前回 4.98%）  
 前回発表の5.02%から4.98%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

＜S&P/ケース・シラー住宅価格指数＞

(米主要 20 都市) 季調前

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
指数	191.66	190.85	189.79	188.26	184.55	182.80
前月比	0.42	0.56	0.81	0.87	1.13	0.96
前年比	5.13	4.98	5.08	5.22	5.44	5.47

(米主要 10 都市) 季調前

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
指数	205.70	204.83	203.77	202.30	200.81	198.78
前月比	0.42	0.52	0.73	0.74	1.02	0.88
前年比	4.33	4.13	4.21	4.40	4.71	4.78

8月の米主要 20 都市の住宅価格は、前年比+5.13%となり、引き続き着実なペースで伸びた。また、20 都市の住宅価格指数は、前月比では季節調整後で+0.24%となった。S&P の指数委員会の委員長は、「緩やかな経済成長の継続に支えられ、住宅価格は上昇が続いた」と指摘。「一戸建て中古住宅販売や住宅着工許可件数など他の住宅関連データも健全な住宅市場を示唆している」と述べた。住宅価格指数は、20 都市全てにおいて前年比で上昇となった。上昇率が最も大きかったのはオレゴン州ポートランドの+11.7%、シアトルは+11.4%、上昇率が最も小さかったのはニューヨークの 1.7%だった。

22:00

＜ 経済指標の結果 ＞

8月米住宅価格指数 (前月比) 0.7% (予想 0.4%・前回 0.5%)

22:00

＜ 経済指標の結果 ＞

8月メキシコ小売売上高 (前月比) 0.6% (予想 -0.1%・前回 0.4%)

8月メキシコ小売売上高 (前年比) 8.9% (予想 5.8%・前回 7.9%)



出所: Bloomberg

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

10月米消費者信頼感指数 98.6 (予想 101.5・前回 103.5)

前回発表の 104.1 から 103.5 に修正



出所：Bloomberg

《消費者信頼感指数》

10月・9月・8月・7月・6月・5月  
 信頼感指数・・・98.6・103.5・101.8・96.7・97.4・92.4  
 現況指数・・・120.6・127.9・125.3・118.8・116.6・113.2  
 期待指数・・・83.9・87.2・86.1・82.0・84.6・78.5

【現況指数】

業況

良好・・・26.2・27.7・30.3・27.3・26.8・26.1  
 悪化・・・17.7・15.8・18.2・18.5・18.3・21.4  
 普通・・・56.1・56.5・51.5・54.2・54.9・52.5

【雇用】

十分・・・24.3・27.6・26.8・23.0・23.2・24.5  
 不十分・・・53.6・50.1・50.4・54.9・53.1・51.0  
 困難・・・22.1・22.3・22.8・22.1・23.7・24.5

【半年先】

業況

改善・・・16.0・17.0・17.6・15.7・16.6・15.0  
 悪化・・・12.2・10.8・11.4・12.4・11.2・11.7  
 横ばい・・・71.8・72.2・71.0・71.9・72.2・73.3

雇用

改善・・・13.1・15.7・14.4・13.5・13.9・12.5  
 悪化・・・17.0・18.1・17.5・17.4・17.7・18.2  
 横ばい・・・59.9・66.2・68.1・69.1・68.4・69.3

10月消費者信頼感指数は、3ヵ月ぶりに大台を下回る結果となり、現況指数は120.6（前回127.9）、期待指数は83.9（87.2）と低下。ビジネス環境は、良好が26.2（前月27.7）、悪化が17.7（15.8）、普通が56.1（56.5）。雇用は、十分が24.3（27.6）、不十分が53.6（50.1）、困難が22.1（22.3）。また、6ヵ月後の予想のビジネス環境は、改善が16.0（17.0）、悪化が12.2（10.8）、不変が71.8（72.2）。雇用は、増加が13.1（15.7）減少が17.0（18.1）、不変が69.9（66.2）。

23:00

《経済指標の結果》

10月リッチモンド連銀製造業指数 -4（予想 -4・前回 -8）





出所：Bloomberg

《リッチモンド連銀製造業指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
景況指数	-4	-8	-11	10	-10	0
出荷	2	-4	-14	7	-8	-3
新規受注	-12	-7	-20	15	-17	0
受注残	-11	-20	-21	1	-12	-12
雇用者数	3	-13	7	6	1	4
賃金	18	13	21	14	15	15

23:00

《 経済指標の結果 》

10月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 51.3 (予想 47.5・前回 46.7)

《 IBD/TIPP 景気楽観指数 》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
景気楽観指数	51.3	46.7	48.4	45.5	48.2	48.7
半年先の景気先行	50.4	40.3	44.7	36.7	43.6	43.5
資金繰り見通し	59.9	58.6	58.0	57.2	57.7	61.1
政府の政策信頼度	43.5	41.2	42.5	42.7	43.3	41.6

10月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は、51.3 と前月から 4.6 ポイント上昇し、節目となる 50 を昨年 4 月以来 1 年半ぶりに上回った。向こう半年の景気は 50.4 (前月 40.3)、資金繰り見通しは 59.9 (58.6)、連邦政府の政策信頼度は 43.5 (41.2) となった。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目され、50 を上回ると楽観的と判断する。

1:00

《 経済指標の結果 》

9月フランス求職者数合計 349.1 万人 (予想 351.8 万人・前回 355.7 万人)



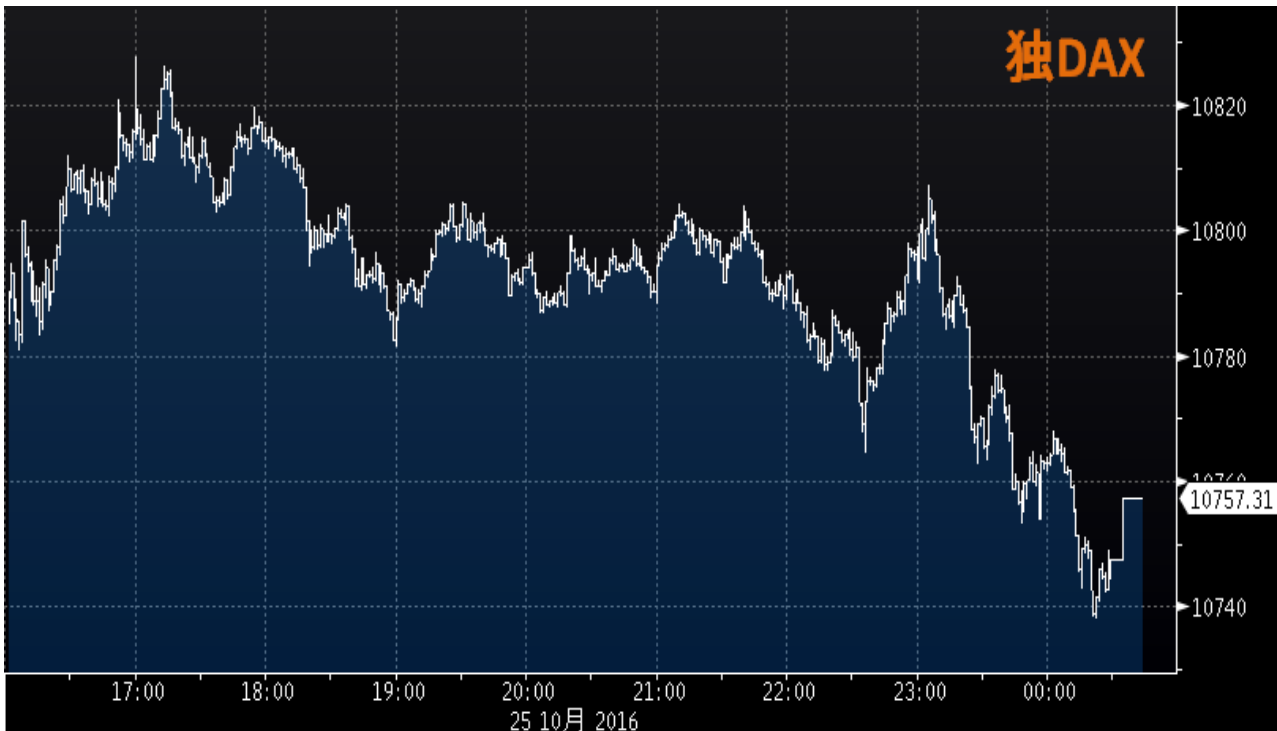
出所：Bloomberg

#### 《欧州のポイント》

- ①スペイン暫定政権は、2012年に国内銀行が受けたユーロ圏諸国による金融支援のうち、10億ユーロ（10億9000万ドル）を返済すると発表した。スペインは欧州債務危機の深刻化を受けて同年に413億ユーロの金融支援を要請。2014年に返済を開始し、53億ユーロをすでに返済している。支援の条件では、債務元本の返済期限は2022年とされている。
- ②ユーロ圏のESM（欧州安定メカニズム）は、ユーロ圏財務相会議での決定に基づき、ギリシャに対し28億ユーロの融資を実施した。11億ユーロは債務返済、残りの17億ユーロは延滞していた政府の支払いに充てられる。
- ③ドラギ・ECB総裁は、マイナス金利に伴い金融業界のコストが増大している現状を認識しており、過度に長く低金利を維持することは望んでいないとの立場を示した。「時間とともに厄介な副作用が蓄積する可能性があり、金利をこのような低い水準に極めて長い期間維持せずに済むことをもちろん望む」と述べた。また、ECBの緩和策が預金者を圧迫しているとのドイツを中心に出ている批判に対して反論。「一時的な低金利により一部預金者が圧迫される可能性があるのは事実だ」としながらも、「いかなる金融資産を保有しようとも、投資リターンは最終的には経済成長率に左右される」と述べた。
- ④カーニー・英中銀総裁は、中銀の独立性に疑念が生じる事態になれば、英国債を含む英資産を保有するコストが上昇するとの懸念を示した。同総裁は、中銀の独立性に疑念が生じれば多くの英資産に対するリスクプレミアムが台頭し、英ポンド、英国債、インフレ期待などが顕著に影響を受けるとの考えを示した。メイ首相が、英中銀の低金利政策と量的緩和策には副作用があると発言したことに関しては、「首相は金融政策の決定方法の変更を示唆していたわけではないと考えている」と述べた。

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英FT100指数は、資源株を中心に買われ、小幅高で引けた。一方、独DAX指数はドイツの景況指標が好調だったことで一時取引中の年初来高値をつけたが、引けにかけて反落となり、小幅安となった。



出所：Bloomberg

◀ NY金市場 ▶

NY金は、中心限月が前日比9.90ドル高の1オンス=1273.60ドルで取引を終了した。

NY金は、米国の消費者信頼感指数が予想以上の低下となり、米景気の先行き不透明感が広がったことで、比較的 안전한資産とされる金を買う動きが優勢となった。また、インドで金の需要が増加していることも押し上げ要因となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.56 ドル安の 1 バレル=49.96 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC による減産実現は困難との見方に加え、米石油統計で原油在庫の増加が予想されていることも材料視され、売りが優勢となった。そして、約 1 週間ぶりに 50 ドルを割り込んで引けた。



◀ 米株式市場 ▶

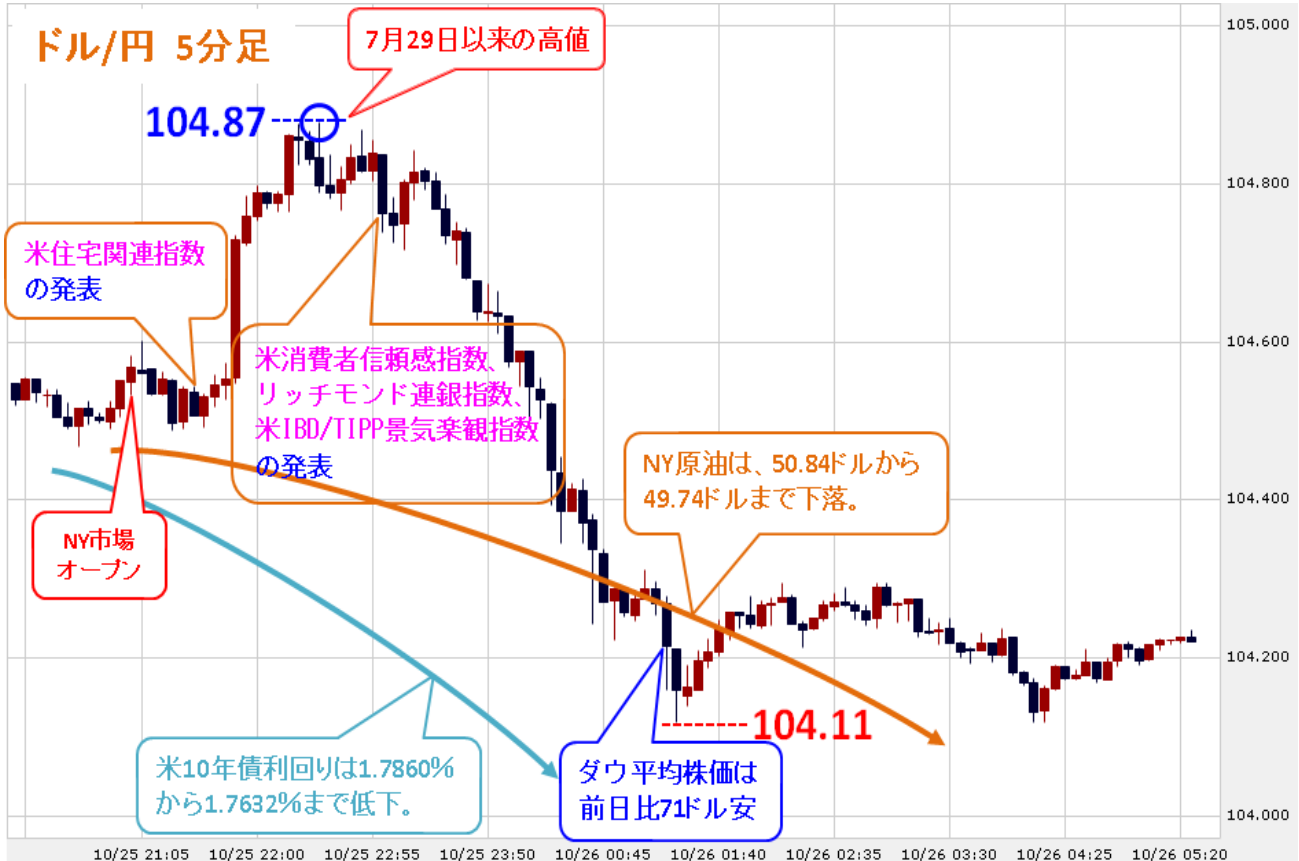
米株式市場は、米国の企業決算がまちまちの結果となったことから、売り買いが交錯し、序盤はもみ合いの展開となった。しかし、その後は軟調な動きが終盤まで続いた。ダウ平均株価は、序盤は売り買い交錯する動きとなったが、その後は軟調な動きとなり、一時 71 ドル安まで下げる動きとなった。





◀外国為替市場▶

外国為替市場は、欧州市場の流れを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。そして、ドル買い・円売りが優勢となり、円が主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、原油や株価下落なども影響し、円を買い戻す動きが優勢となり、ドル円・クロス円は、終盤まで軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。